

人にやさしく 自分を高め みんなのために役立とう！

みとめ合う渋川小

渋川小 学ぶ力向上プログラム

学力向上の柱 ① 校内研究

学びの向上

- 道徳科における授業改善
 - ・ 自尊感情を高める学びの場を作る。
 - ・ 考え、対話する学習展開
- 授業を通じて生きる力を育む
 - ・ 表現力（聞く・話す、書く力）の育成・ICTの活用
- 思考力・判断力・表現力の向上
 - ・ 話し合い活動の充実・ペア学習、グループ学習
- 板書の工夫とノート指導の充実
 - ・ 思考を促す板書の工夫
- 授業におけるユニバーサルデザイン化の推進

思考力、表現力の向上

学力向上の柱 ② 学び合い部会

基礎学力の向上

- 朝の学びの時間 ○宿題から家庭学習へ
 - ・ 読み、書き、計算の反復練習
 - ・ 渋川家庭学習帳、全校で取り組む毎日音読
- 個に応じたきめ細かな指導の推進
 - ・ 個別指導の充実・補充学習の取組
- 特別支援教育の機能充実
 - ・ 視覚支援（写真や絵カード、一日の見通し）
 - ・ ICT活用による授業変革・スクリーニング実施
- ICTの活用

基礎・基本の充実

学力向上の柱 ③ 学び合い部会

学びの専門性を追求

- 地域協働合校の理念を生かした活動
 - ・ 指導計画とスケジュールを示す
 - ・ 学習後の感想・変容を伝える
- 地の利を生かした関係機関との連携
 - ・ まちづくりセンター・草津東高等学校・立命館大学
 - ・ 滋賀大学・コミュニティ事業団等
- 広報活動（学校だより、ホームページ）
- コミュニティ・スクールの推進
- 教職員の資質の向上 ○中学校区連携

豊かな人間性を育む体験活動

<渋川小の児童の実態>

（よい点）

- ・ 授業での話し合い活動や発表に積極的である。
- ・ 本やインターネットを使っての調べ学習に積極的である。
- ・ 読書が好きである。
- ・ 指示されたことがしっかりと実行できる。

（課題）

- ・ 作文など、表現する力がやや弱い。
- ・ 地域の方にあいさつができていないことがある。
- ・ 苦手なことに立ち向かう力が弱い。

☆29年度全国学力・学習

状況調査結果から

- （強み）
 - ・ 記述式の問題において正答率が高い。
 - ・ 無解答率が低い。
 - ・ 地域とのつながりが強い。
- （弱み）
 - ・ 学力に若干の開きが見られる。
 - ・ 基礎基本の計算・漢字にミスが見られる。

平成29年度 思考力・表現力 の向上

自分の考え・思いを
表現する力の育成
（思考の言語化）
←
話す力・書く力を
つける

<H29年度後期の具体的取組>

①基礎・基本の定着

- あおぞら 宿題を自ら取り組み、必ず提出できるよう支援する。
- 1年生 ひらがな、カタカナ、漢字の反復練習を増やす。
- 2年生 九九習得100%をめざし、カードを使ったり、暗唱テストを繰り返したりする。
- 3年生 タブレットを使った漢字・計算ドリルの時間を最低週1回は確保する。
- 4年生 算数科の単元の後半にチャレンジデーを設定し、自分のペースで課題に取り組めるようにする。
- 5年生 学習の終わりに1問テストを行い定着をはかる
- 6年生 計算練習で児童を教え合いをシステム化する

②草津型アクティブ・ラーニングの学習スタイルの実践

- アクティブ・ラーニングチェックシートを作成し、授業スタイルを改善する。
- 以上の取り組みを毎月の職員会議の場で各学年ごとに評価し、振り返る。